

今日より、あしたは、笑顔で

～第5次湯沢市男女共同参画計画を策定しました～

問 まちづくり協働課交流・未来づくり推進班(☎56-8386)



人 口減少と少子高齢化が加速する湯沢市では、地域の活力を維持し、誰もがこのまちに「生まれて良かった」「住んで良かった」と心から思える持続可能なまちを実現するために、これまで以上に「住んでいるすべての人が活躍できる社会」を築いていくことが求められています。

こうした背景のもと、市では、社会情勢の変化や多様化する課題に対応し、誰もが人権を尊重され、個性と能力を発揮しながら仕事と家庭生活を両立できる『すべての人を大切にし、安心して挑戦できるまち』を目指して、新たな一歩を踏み出します。

将来像
すべての人を大切にし、安心して挑戦できるまち

計画期間
 本年度(2026年度)～令和12年度(2030年度)

計画の趣旨
 近年の社会情勢の変化や多様化する地域課題に対応し、すべての市民が人権を尊重され、個性と能力を発揮しながら仕事と家庭生活を両立できる社会を目指して策定しました。

計画が目指す3つの推進の柱

性別に関わらず誰もが活躍できる環境づくりの推進

人口減少が進む中、特に若い世代の女性の市外転出が課題となっています。この流れを変えるには、女性の視点や意見をまちづくりに生かし、リーダーとして活躍できる多様性のある環境を整えることが大切です。

主な取り組み
 ▼若年女性の定着に向けたIT・DXスキルアップ支援
 ▼市政・リーダーシップ分野における登用拡大

健康的に自分らしく暮らせる安全・安心な社会の実現

叩くなどの身体的な暴力だけでなく、怒鳴る、生活費を渡さない、SNSでの嫌がらせといった行為もDVに含まれます。見えにくい被害が増えている今、こうした行為がすべて暴力であることを、地域で理解し合うことが大切です。

主な取り組み
 ▼DV防止に向けた啓発活動
 ▼多機関連携による切れ目のない包括的支援

男女共同参画社会の実現に向けた意識醸成と基盤強化

「男性は仕事」「女性はこうあるべき」といった、気づかないうちに持っている偏った見方をアンコンシヤス・バイアス(無意識の思い込み)といいます。こうした思い込みは、周りの人の活躍を妨げてしまうかもしれません。そのため、自分の考えを振り返ることが大切です。

主な取り組み
 ▼アンコンシヤス・バイアスへの気づきを促進
 ▼困難な問題を抱える女性等への支援の推進

まちがもっと楽しく、良くなっていくために

すべての人が自分らしく



湯沢市若者や女性が輝くまちづくり推進協議会
 委員 佐々木 玲咲さん
 (湯沢翔北高等学校3年)

— 学校生活で、性別による違いを感じる場面はありますか？

学校では、意見をまとめる時も、男だからとか女だからとか全く関係なく、発言力がある方や色々な考えを持っている方の意見を尊重するような感じで物事が決まってくるので、特に性別による違いは感じていません。

— 家では、家事の分担についての取り組みはありますか？

家では私もお母さんと一緒に料理を作っています。お父さんは仕事から帰ってきてから掃除などをやってくれます。お父さんは掃除が得意で、お母さんは料理が得意なので、それぞれの得意分野を生かして家事を分担しています。

— まちづくりの場に参加して、感じたことや期待することはありますか？

3月に開催された多世代交流イベントやサブカルチャーイベントに参加して、いろんな方がまちを良くしようと頑張っていることに気づきました。最初は「湯沢って、いかにも田舎だな」という印象を持っていましたが、実際に参加してみると、みんなが楽しめて、まちがもっと良くなるようなイベントが広まっていく感じでした。

いかにして湯沢に残ってもらおうか、そして戻ってきてもらえるか



湯沢市男女共同参画推進協議会
 会長 和賀 幸雄さん
 (株式会社和賀組代表取締役社長)

— 第5次計画の取りまとめを通して感じたことや印象に残っている点を教えてください。

今回の協議会の委員は全部で9人です。策定に向けた協議では、委員の皆さんがそれぞれの専門性を発揮し、主体的に率直な意見をどんどん出してくれました。「やらされている」雰囲気は一切なく、会長としての姿勢に大いに感心しました。

— 審議を進めていく中で、特に大切にされた点は？

国は女性の「所得向上」と「自立」を重視して、非正規から正規雇用への転換やリスキリング(再教育)を推進しています。今回の計画では、LGBTQ+への配慮や多様性の観点から、表現を「男女はともに」から「すべての人が」へと刷新しました。こうした時代の変化を捉えた踏み込んだ表現への変更は、多様な視点を持つ委員の皆さんだからこそ実現できた成果だと思います。

— 男女共同参画についての思いは？

いかにしてこの地域に残ってもらおうか、あるいは湯沢を出て行った人にまた戻ってきてもらえるかが重要だと思っています。今の時代はリモートやフルリモートで働ける環境が整ってきているので、「地元で仕事がない」という時代ではなくなっていくと思います。やりたい仕事を地元でできる社会になればいいと思います。

6月は秋田県男女共同参画推進月間です

市では、6月の推進月間に合わせ、次の事業を開催しています。

パソコンなんでも相談会 **無料**

- 日 時 6月18日(木)～21日(日)
午前9時30分～午後0時30分(1人1時間)
- 場 所 男女共同参画センター「はあとぴあ」
- 定 員 先着12人
- 申込み 6月10日(水)まで「はあとぴあ」(☎72-5750)へお電話ください。

男女共同参画特設コーナー設置

- 期 間 6月30日(火)まで
- 場 所 湯沢図書館、雄勝図書館、稲川カルチャーセンター および市役所皆瀬庁舎

